

平成28年省エネルギー基準評価対象製品性能一覧

「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率と日射熱取得率
大部分がガラスで構成されている窓等の開口部

こちらの対象製品性能一覧は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」、及び一般社団法人 日本サッシ協会ホームページ内「「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率（住宅用窓の簡易的評価による）」に基づいています。

建具の仕様	ガラスの仕様			中空層の仕様		開口部の熱貫流率[W/(㎡K)] ※5				開口部の日射熱取得率[η] ※6			不二サッシ適合製品 ※7	
				ガラスの封入※4	中空層の厚さ	付属部材 無し	シャッター ・雨戸付	和障子付	風除室 あり	付属部材 無し	和障子付	外付けブラ インド		
樹脂(又は木) と金属の複合 材料製建具 ※1	複層ガラス	Low-Eガラス ※8	日射取得型 ※10	されている	14mm以上	2.33	2.11	1.99	1.89	0.51	0.30	0.12	・FNS-Ⅱ 100R ・FNS-Ⅱ 100RS	
			日射遮蔽型 ※11							0.32	0.21	0.09		
			日射取得型 ※10		14mm未満	2.91	2.59	2.41	2.26	0.51	0.30	0.12		
			日射遮蔽型 ※11							0.32	0.21	0.09		
			日射取得型 ※10	されていない	9mm以上	2.91	2.59	2.41	2.26	0.51	0.30	0.12		
			日射遮蔽型 ※11							0.32	0.21	0.09		
			日射取得型 ※10		9mm未満	3.49	3.04	2.82	2.59	0.51	0.30	0.12		
			日射遮蔽型 ※11							0.32	0.21	0.09		
		一般ガラス	されていない		11mm以上	3.49	3.04	2.82	2.59	0.63	0.30	0.14		
					11mm未満	4.07	3.49	3.21	2.90					
その他 ・金属製建具 ※2 ・金属製熱遮断 構造建具 ※3 等	複層ガラス	Low-Eガラス ※8	日射取得型 ※10	されている	10mm以上	2.91	2.59	2.41	2.26	0.51	0.30	0.12	・FNS-Ⅱ 70 ・FNS-Ⅱ 70D ・FNS-Ⅱ 70CF ・Super70P ・Super70H ・Super70AT ・FNS-70P ・FNS-70P断熱 ・FP-AT70P ・FP-AT70CF ・FNS-Ⅱ 100CF ・FNS-100 ・FNS-100断熱 ・FNS-100AT ・断熱100N ・FP-AT100P	
			日射遮蔽型 ※11							0.32	0.21	0.09		
			日射取得型 ※10		10mm未満	3.49	3.04	2.82	2.59	0.51	0.30	0.12		
			日射遮蔽型 ※11							0.32	0.21	0.09		
			日射取得型 ※10	されていない	14mm以上	2.91	2.59	2.41	2.26	0.51	0.30	0.12		
			日射遮蔽型 ※11							0.32	0.21	0.09		
			日射取得型 ※10		7mm以上14mm未満	3.49	3.04	2.82	2.59	0.51	0.30	0.12		
			日射遮蔽型 ※11							0.32	0.21	0.09		
			日射取得型 ※10	されていない	7mm未満	4.07	3.49	3.21	2.90	0.51	0.30	0.12		
			日射遮蔽型 ※11							0.32	0.21	0.09		
		一般ガラス	されていない		8mm以上	4.07	3.49	3.21	2.90	0.63	0.30	0.14		
					8mm未満	4.65	3.92	3.60	3.18					
		単板ガラス ※9	—		—		6.51	5.23	4.76	3.95	0.70	0.30		0.15

表中の用語の定義については、国立研究開発法人建築研究所が公表する「平成28 年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「2.エネルギー消費性能の 算定方法 2.1 算定方法 1.概要と用語の定義」を参照（ http://www.kenken.go.jp/becc/house.html ）													
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※1「樹脂（または木）と金属の複合材料製建具」とは、屋外側の大半に金属、屋内側の大半に樹脂（または木）を使用した構造をいいます。
※2「金属製建具」とは、アルミニウム合金等の金属で構成されたものであり、枠等の一部に樹脂等を使用した構造のものも含む。
※3「金属製熱遮断構造建具」とは、金属製の建具で、その枠及び框等の中間部を樹脂等の断熱性を有する材料で接続した構造をいいます。
※4「ガス」とは、アルゴンガス又は熱伝導率がこれと同等以下のものをいいます。
※5国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の熱貫流率及び線熱貫流率（窓等の大部分がガラスで構成される開口部）の熱貫流率の表及び付属部材が付与される場合、風除室に面する計算式によります。
なお、本表は、一般社団法人日本サッシ協会のホームページでも確認できます。（<https://www.jsma.or.jp/Portals/0/images/sash/gijutu/20-0501.pdf>）
※6国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」に準拠しています。
※7対象製品、窓種ごとに使用可能ガラスが異なります。詳細は、各シリーズカタログ等でご確認ください。
※8「Low-E複層ガラス」とは、2枚の板ガラスと1つの中空層からなるものであり、1枚以上の板ガラスにLow-E膜を中空層に面するように使用しているものをいう。低放射複層ガラスともいう。
※9「単板ガラス」とは、1枚の板ガラスにより構成されるガラスをいう。
※10「日射取得型」とは、JIS R3106に定めるガラス中央部の日射熱取得率が0.50以上のものをいいます。
※11「日射遮蔽型」とは、JIS R3106に定めるガラス中央部の日射熱取得率が0.49以下のものをいいます。

こちらの製品性能一覧は、一般社団法人 住宅性能評価・表示協会運営の「温熱・省エネ設備機器等ポータルサイト」に登録済みです。
上記中の製品は、構造・形状等での性能確認が可能であるため、上記ポータルサイトにおける性能確認区分はすべて「-」となります。